

# 連絡船

北海道天売高等学校  
平成29年 3月24日発行



学校通信 第 8 号

## 天売学「天売の未来」

### 今までの成果を発表しました

1月28日(土)の「天売の未来」の授業で、島の方々をお招きし、天売学でこれまでに習ったことの発表を行いました。

12月の授業で、これまでの天売学で学習した内容を元に、発表原稿とプレゼンテーション用のスライドの作成をしました。1年生の生徒3名は、それぞれ「自然」「観光」「産業」を担当し、講義やフィールドワークで学んだことに自分の考察や主張を加えてまとめました。3年生の2名は、3年間の天売学で学んだ「自然」と「産業」に分かれ、新たな取材や調べ直したものを付け加えて資料作成を行いました。

1年生3名の発表は、「自然」では海鳥について、「産業」では天売の基幹産業である漁業について、「観光」では今年の3回の授業について発表しました。

3年生の「自然」は、天売島の海鳥、漁業と海鳥の関係、観光船からの海鳥観察、天売に渡ってくる野鳥など

についての発表をしました。「産業」では、天売の漁業とその問題、ホタテの養殖業、ウニ漁・タコ漁などについて発表しました。

受講した島の方々からは「よくまとめられていた。天売の良さをもっともっと引き出して下さい。」などの感想が寄せられ、天売島の今後の発展について考察する良い機会となりました。



様々な感性の絵を見るたびに笑いが起こり、続く3年生によるジェスチャーゲームでも難問・珍問に解答者

は悪戦苦闘するなど、終始笑いが絶えませんでした。

予餞会後半は、卒業生の3年間のまとめのスライドショー、これまでにお世話になった教員からのビデオメッセージの上映と進行します。最後は1年生と3年生の一人ひとりから想いのつまった言葉を伝え合い、記念品の贈呈、そして思い出の歌「友～旅立ちの時～」を合唱し、感動のなか予餞会は終了しました。

この日は全校生徒5人にとっても、また教員にとっても思い出に残る有意義な時間となりました。

## 学校開放講座

### 楽しい実験教室

2月26日(日)、毎年恒例の学校開放講座「楽しい実験教室」を、本校教諭の中村先生を講師として実施しました。天売小中学校からは藤原先生をはじめ他の先生方も来てくださるなか、参加者の児童生徒13名がこの日のテーマ「光」についての実験・工作を行いました。

実験教室は前半と後半に分け、前半は「光のふしぎ」と題して光の3原色の実演や偏光フィルターに光を通す実験など5つの実験を行いました。クイズ形式を進める中で、児童生徒たちは自分の予想と違う結果に驚きの声を上げていました。

後半は、光の性質の1つである屈折を利用したものとして望遠鏡を紹介し、その後100円ショップなどで買える老眼鏡のレンズや厚紙を使って1人1つずつ手作り望遠鏡を製作しました。それぞれ思い思いの絵を描き入れるなど、楽しみながら作ることができました。最後に実際に望遠鏡を覗いて遠くのものが大きく見えることを確認。今度はぜひ月を見てほしいと思います。



## 泣いた！笑った！

### 予餞会

今年度最後の生徒会行事となる予餞会を2月24日(金)に行いました。3年生への感謝の気持ちを伝えるとともに生徒・教員で楽しい時間を一緒に過ごそうと、生徒会の1年生が2か月前から準備を進めました。

当日は、1年生手作りのおにぎらずとミネストローネを美味しくいただき、その後はレクリエーションを楽しみました。1年生の企画によるお絵かき伝言ゲームでは

## 今年度を振り返って

### 上田智史校長



今年度最後の「連絡船」となりました。春は別れと出会いの季節とは言いますが、やはり天売高校で同じ時間を一緒に過ごした仲間との別れは寂しいものがあります。

しかし、転勤族の宿命でありますので、次の場所で心新たにしていかに活躍されることを願ってやみません。天売高校がますます活気に溢れた元気な様子を伝えられるように、次年度もしっかりと学校経営に努めていきたいと思っております。

平成28年度は、島外からの新入生2名を迎えてのスタートでした。5名の全校生徒はお互いを思いやりながら力を合わせて仕事も学校生活もしっかりと送っていました。生徒募集推進協議会をはじめ、地域の方々のご支援のもとに天売高校が支えられていることを実感することが多々ありました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

新年度は2名の島外生を迎えることとなりました。天売島での生活に早く慣れて、天高生として先輩のように頑張りたいと思っております。ここまでのご支援に対する感謝を申し上げ、引き続き天売高校への熱いエールをよろしくお願いたします。

## 今までお世話になりました！

### ～転出者からひとこと～

#### 永田 秀次郎 教頭 北海道月形高等学校へ



2年前、フェリーターミナルで多くの人に出迎えていただいて着任したことを昨日のように思い出します。この2年間、素晴らしい生徒・保護者をはじめとする地域の方々、そして

力のある教職員に囲まれて楽しい日々を過ごすことが出来ました。天売高校ならではの土曜授業「天売学」、水産実習、入学生の全国・全道募集活動など、地域の方々のご協力が無事に業務を進められましたことに感謝申し上げます。日本一小さな高校での勤務は、私に新たな道を見せてくれました。新任地においても、さらに努力して参りたいと思っております。天売島、そして天売高校を応援していただいている皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈りしております。2年間、お世話になり本当に有り難うございました。



#### 中村 章 教諭 北海道帯広三条高等学校へ

母の実家、祖父のお墓がある苫前への車中、ろうそく岩の先に幾度となく見てきた天売島。私にとっては行ったことのない近くて遠い島でした。それがちょうど2年前、心温かい島の方たちに迎えていただいていたからは、天売への想いは大きく変わりました。そしてこの2年間で多くの貴重な経験をさせていただきました。

初めて高校教員として赴任し心優しい生徒と授業や行事で密に過ごしたこと、美味しい海の幸を頂いたこと、自転車で島を周回する私に「いまなんしゅうめ一つ」と島の子が声をかけてくれたこと、島の人たちと一緒に神輿を担いだこと。本当にいい思い出ができました。

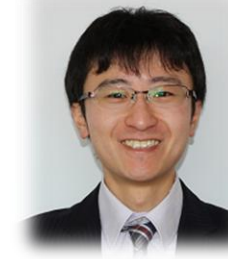
2年間という短い間でしたが、島の皆さまには大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



#### 山田 小鈴 教諭 北海道北広島西高等学校へ

3年間の天売高校在職期間は、本当に楽しい時を過ごし、他ではできない貴重な出会いを経験することができました。3年間で出会った生徒数11名という小さな小さな学校の、愛すべき生徒。おいしい魚介類。小中学校との合同の行事。そして、地域の方々との心温まる出会い。すべての出会いに感謝しております。今後の天売島と、天売高校のさらなる発展を願っています。

#### 鈴木 祥平 教諭 退職



4年間という短い間でしたが、地域の皆様には大変お世話になりました。天売島にいる間、実に多くのことを学び、経験させていただきました。赴任した当初はよく周りの先生方から「天売では生きる力が身につく」と言われました。本当にその通りで、島民の方々が当たり前のように行っている魚をさばく作業や草刈りは、私にとっては初めての経験であり、慣れるまで時間がかかりましたが、曲がりなりにもできるようになりました。教員という立場にありながら、私自身も島で学ぶことで生徒とともに成長することができたと思っております。この地で学んだこと・経験したことを今後活かしていきたいと思っております。4年間本当にありがとうございました。